

令和元年度（佐賀県新人選手権大会より）
佐賀県高体連

レスリング専門部報告書

R 元. 1 1 ~ R2. 1 0

令和2年1月から日本国内に感染拡大した新型コロナ禍にあつて、令和2年度はレスリングのみならず多くの競技が中止や延期が余儀なくされた。

令和元年度11月からの結果を見てみると、当初、県新人戦は予定通り実施され、昨年からの勢いそのままに、鳥栖工業高校が実力を存分に発揮し学校対抗戦優勝、個人戦全階級優勝を飾った。また、その後に行われた九州新人レスリング新人選手権大会でも、学校対抗戦優勝、個人戦も8階級中7階級優勝という過去最高の成績を残した。鳥栖工業高校は全九州・九州新人を見ても4大会連続で九州優勝を果たしており、昨年度（令和元年度）のインターハイ学校対抗戦3位の実績等から、令和2年度は全国優勝を目論むほどに力を付けてきた状態であった。しかしながら、新型コロナ感染拡大により、その後の大会の実施はおろか、練習や遠征等も制約され、国や県、学校が示す自粛規制の中で可能な限り感染防止に気を配りながら、練習を行ってきた。

本年度実施予定であった東京オリンピックも中止となり、県総体をも中止が決定したが、幸いに県のご尽力で6月に SSP 杯が県内で実施されることとなり、特に活躍の場を失っていた3年生に大きな舞台を作っていた。SSP 杯は学校対抗戦・個人対抗戦とも鳥栖工業高校の完全勝利という結果に終わった。

結局、令和元年11月からは県新人、九州新人、ひむか杯、SSP 杯の4大会のみ実施となった。3月に中止した全国選抜大会が令和2年10月に、代替大会として、新潟で全国選抜大会（風間杯）として実施されることが決定した。鳥栖工業高校は令和元年度九州新人選手権大会で優勝して参加権を持ち、大会に臨んだ。

高体連レスリング専門部の役員は専門部長は変わらず、鳥栖工業高校長の代居正巳先生、そして専門委員長は鳥栖工業高校の橋本喜晴が昨年より継続することとなった。下記に今年度の高体連の役員を示す。

専 門 部 長	代居 正巳(鳥栖工業高校長)
専 門 委 員 長	橋本 喜晴(鳥栖工業高校)
専 門 委 員	岩崎 康志(鹿島高校・監督)
専 門 委 員	小柴 健二(鳥栖工業高校・監督)
専 門 委 員	中村百次郎(うれしの特別支援学校)

令和元年度（2019 年度）

佐賀県高等学校レスリング新人選手権大会

日時：R 元.10.27

場所：鹿島高校 大手門学舎

今年の新人戦では、鹿島実業高校において3年生が引退した後、1、2年生の部員の数少なく全階級に配置することができず、学校対抗戦

はチームの構成ができず、学校対抗戦は鳥栖工業高校の優勝となった。個人対抗戦は8階級中7階級が1位と鳥栖工業の活躍が目立った。鹿島実業からは女子の参加もあった。令和元年2月に鹿児島県日置市で実施される全九州高等学校新人選手権大会に学校対抗戦は1、2位のチーム、個人対抗戦で県内6位まで、同校同階級での選手は2名まで参加できる。

【学校対抗戦】

第1位 鳥栖工業高等学校

【個人対抗戦】

51kg 級	第1位	尾西大河	(鳥栖工業)
55kg 級	第1位	伊藤翔哉	(鳥栖工業)
	第2位	伊藤快登	(鳥栖工業)
60kg 級	第1位	小野正之助	(鳥栖工業)
	第2位	石橋航希	(新鹿島高校)
	第3位	福地慧太	(鳥栖工業)
65kg 級	第1位	須田快晴	(鳥栖工業)
	第2位	片田皓之	(鳥栖工業)
71kg 級	第1位	小柴伊織	(鳥栖工業)
	第2位	柿崎 寛	(鳥栖工業)
	第3位	渕野結生	(新鹿島高校)
80kg 級	第1位	吉田海耶	(鳥栖工業)
	第2位	佐藤駿丞	(鳥栖工業)
92kg 級		エントリーなし	
125kg 級	第1位	藤田匠賢	(鳥栖工業)

57kg 級女子 第1位 森田 珠海 (新鹿島高校)

令和元年度（2019 年度）

JOC ジュニアオリンピックレスリング九州ブロック予選会 兼

第30回ひむか杯高校九州選手権

日時：R 元年 12 月 24 日～25 日

場所：宮崎県総合青少年センター体育館

この大会は、男子のジュニア優勝者とカデット総合6位までの入賞者は来年の4月24、25日に神奈川県で開かれる全国大会に出場することとなる。鳥栖工業高校は全競技の総合得点で決定される団体優勝を飾った。同校は2年連続となる

< 団体 >

優勝 鳥栖工業高校



< カデットの部 > ……16, 17 歳

● フリースタイル

51kg 級	第1位	尾西大河	(鳥栖工)
60kg 級	第1位	小野正之助	(鳥栖工)
65kg 級	第2位	片田皓之	(鳥栖工)
71kg 級	第1位	小柴伊織	(鳥栖工)
110kg 級	第1位	藤田匠賢	(鳥栖工)

● グレコローマンスタイル

51kg 級	第1位	尾西大河	(鳥栖工)
60kg 級	第1位	小野正之助	(鳥栖工)
71kg 級	第1位	小柴伊織	(鳥栖工)
110kg 級	第1位	藤田匠賢	(鳥栖工)



●総合順位

51kg 級 第 1 位 尾西大河（鳥栖工）
60kg 級 第 1 位 小野正之助（鳥栖工）

71kg 級 第 1 位 小柴伊織（鳥栖工）
110kg 級 第 1 位 藤田匠賢（鳥栖工）
65kg 級 第 4 位 片田皓之（鳥栖工）
以上全国出場権獲得

<ジュニア>.....18～20 歳

●フリースタイル

57kg 級 第 3 位 伊藤快登（鳥栖工）
65kg 級 第 1 位 須田快晴（鳥栖工）全国出場権獲得
79kg 級 第 3 位 吉田海耶（鳥栖工）

●グレコローマンスタイル

55kg 級 第 1 位 伊藤翔哉（鳥栖工）全国出場権獲得

<女子>

62kg 級 第 2 位 森田珠海（鹿島高）

令和元年度

第 55 回全九州高等学校レスリング新人選手権大会

（第 63 回風間杯全国高等学校選抜レスリング大会

九州ブロック大会）

日時：R 元 2.9（土）～2.10（日）

場所：鹿児島県日置市吹上浜公園体育館

各県で行われた新人大会の結果で、出場権が得られる。学校対抗戦は 1、2 位のチーム、個人対抗戦で県内 6 位まで、同校同階級での選手は 2 名まで参加できる。秋に国体が予定されている鹿児島県で実施した。

ここでベスト 8 に入れば 3 月 27 日から 29 日に新潟市で実施される選抜大会に出場できる権利を得ることになる。

鳥栖工業高校は現在学校対抗戦九州大会 4 連覇の勢いそのままに、学校対抗戦では圧倒的な力を見せ、頂点に上り詰めた。また、鳥栖工業は個人対抗戦においても、全 8 階級中出場した 7 階級のうち 6 階級で頂点に立った。71kg 級の小柴（鳥栖工）は圧倒的な力があつたが、学校対抗戦で相手の反則ぎりぎりの攻撃で負傷したため、個人対抗戦では全国選抜大会の出場権を得た準々決勝で不戦負けを選択した。

<学校対抗戦>鳥栖工業高校 優勝

鳥栖工業高校

1 回戦 鳥栖工業○ 6－1 ×鹿屋中央（鹿児島）
準々決 鳥栖工業○ 7－0 ×島原（長崎）
準決勝 鳥栖工業○ 6－1 ×小倉商業（福岡）
決勝 鳥栖工業○ 6－1 ×玉名工（熊本）

<個人対抗戦>

51kg 級.....尾西大河（鳥栖工）優勝
2 回戦 尾西大河（鳥栖工）○－×篠原（宮崎日大）
準々決 尾西大河（鳥栖工）○－×田端（三井）
準決勝 尾西大河（鳥栖工）○－×湯朝（小倉商）
決 勝 尾西大河（鳥栖工）○－×平川（玉名工）

55kg 級.....伊藤翔哉（鳥栖工）優勝

1 回戦 伊藤快登（鳥栖工）○－×荒木（玉名工）
2 回戦 伊藤快登（鳥栖工）×－○大野（鹿屋中央）
2 回戦 伊藤翔哉（鳥栖工）○－×弓場元（宮崎日大）
準々決 伊藤翔哉（鳥栖工）○－×柴山（小倉商）
準決勝 伊藤翔哉（鳥栖工）○－×赤嶺（南風原）
決 勝 伊藤翔哉（鳥栖工）○－×二宮（日大文理）

60kg 級.....小野正之助（鳥栖工）優勝

1 回戦 石橋航希（鹿 島）×－○大城（北部農林）
1 回戦 福地慧太（鳥栖工）×－○落水（島原）
2 回戦 小野正之助（鳥栖工）○－×西尾（済々黌）
準々決 小野正之助（鳥栖工）○－×深水（日大文理）
準決勝 小野正之助（鳥栖工）○－×大城（北部農林）
決 勝 小野正之助（鳥栖工）○－×辻（小倉商業）

65kg 級.....須田快晴（鳥栖工）優勝

1 回戦 片田皓之（鳥栖工）○－×平戸（三井）
2 回戦 須田快晴（鳥栖工）○－×山下（宮崎工）
2 回戦 片田皓之（鳥栖工）×－○中泊（北部農林）
準々決 須田快晴（鳥栖工）○－荒木（島原工）
準決勝 須田快晴（鳥栖工）○－長谷川（鹿屋中央）
決 勝 須田快晴（鳥栖工）○－藤澤（小倉商業）

71kg 級.....小柴伊織（鳥栖工）第 3 位

1 回戦 渕野結城（鹿島）○－×友松（築城西）
1 回戦 柿崎 覚（鳥栖工）×－○薬師（宮崎工）
2 回戦 小柴伊織（鳥栖工）○－×後藤（宮崎工）
2 回戦 渕野結城（鹿島）×－○濱崎（島原）
準々決 小柴伊織（鳥栖工）×－○濱崎（島原）

80kg 級.....吉田海耶（鳥栖工）優勝

1 回戦 佐藤駿丞（鳥栖工）×－○佐々木（小倉商）
1 回戦 吉田海耶（鳥栖工）○－×藤崎（宮崎第一）
2 回戦 吉田海耶（鳥栖工）○－×池田（鹿屋中央）
準々決 吉田海耶（鳥栖工）○－×工藤（津久見）
準決勝 吉田海耶（鳥栖工）○－×大槻（玉名工）
決 勝 吉田海耶（鳥栖工）○－×佐々木（小倉商業）

125kg 級.....藤田匠賢（鳥栖工）優勝

1 回戦 藤田匠賢（鳥栖工）○－×下之段（宮崎第一）
準々決 藤田匠賢（鳥栖工）○－×島袋（美来工科）
準決勝 藤田匠賢（鳥栖工）○－×竹田（小川工）
決 勝 藤田匠賢（鳥栖工）○－×小園（小川工）

令和元年度

全国高等学校レスリング選抜レスリング大会

（第 63 回風間杯全国高等学校選抜レスリング大会）

新コロナ感染拡大により中止

この大会は全九州新人大会で、学校対抗戦および個人対抗戦とも各ブロックでベスト8に入った選手に出場権が与えられる。鳥栖工業高校は九州大会において、圧倒的な強さで頂点まで駆け上がり、全国をという意気込みでいたが、中止の決定を受けた。

のちに、10月8日（木）～11日（月）に代替大会を無観客で実施することとなった。コロナ禍において厳重な対策の元に開催された。

令和元年度

2020年JOC ジュニアオリンピックカップ 全日本ジュニア レスリング選手権大会

新型コロナウイルス感染拡大により中止

令和2年度

全国高等学校総合体育大会レスリング競技 佐賀県大会

新型コロナウイルス感染拡大により中止

令和2年度（2020年度）

第61回全九州高等学校レスリング競技大会

新型コロナウイルス感染拡大により中止

令和2年度（2020年度）

第1回SSP杯佐賀県高校生スポーツ大会 レスリング競技大会

日時：令和2年6月21日（日）
場所：鹿島高校 大手門学舎 柔剣道場

本年度、新型コロナウイルス感染拡大により総体関係がすべて中止になった。県のご厚意で、3年生のこれまで汗の結晶を披露する舞台が実施されることになった。

できる限りの感染防止対策を行った。3密を避け、一般の方の観戦を規制した。入場許可は選手、役員、保護者のみとし、受付

で検温を実施し、連絡先の記入を義務づけた。選手についてはある期間検温と体調の記録を提出させた。また、前日計量となった規定を今回に限り、特別ルールとしという当日計量とした。遠方から来るチームは宿泊を避けた。

競技は、個人団体ともに経験者が多い鳥栖工業高校が圧倒した。

今回の大会で特筆すべきは、コロナ禍で十分な練習ができず、体調を維持できず、負傷した選手が目立った。

【学校対抗戦】

鳥栖工業 ○6 - 0× 鹿島高校

【個人対抗戦】

- 55kg 級 第1位 尾西大河（鳥栖工）
第2位 白川剣斗（鳥栖工）
第3位 増山晴空（鹿島高）
- 60kg 級 第1位 須田 宝（鳥栖工）
第2位 伊藤快登（鳥栖工）
第3位 宮崎海斗（鹿島高）
- 65kg 級 第1位 小野正之助（鳥栖工）
第2位 石橋航希（鹿島高）
第3位 柿崎 覚（鳥栖工）
- 71kg 級 第1位 須田快晴（鳥栖工）
第2位 渕野 結生（鹿島高）
第3位 片田 皓之（鳥栖工）
- 80kg 級 第1位 吉田海耶（鳥栖工）
第2位 飯塚康太（鳥栖工）
第3位 中村響希（鳥栖工）
- 125kg 級 第1位 藤田 匠賢（鳥栖工）



2020年

アジアカデット選手権

未開催

JOC ジュニアオリンピックカップ全日本ジュニアレスリング選手権大会において優勝した選手はアジアカデット選手権への出場権を得るところであるが、開催しなかった。

令和2年度

国民体育大会 佐賀県選考会

本国体が開催されないため、県予選会は実施しなかった。

令和2年度

全国高等学校総合体育大会レスリング競技 三笠宮杯 第67回全国高等学校レスリング選手権大会 (北関東大会・群馬県)

新型コロナ感染拡大により中止

令和2年度(2020年)

国民体育大会(鹿児島大会)

新型コロナ感染拡大により中止

※国体鹿児島大会は、延期され2023年(佐賀大会予定年)に実施。佐賀大会(“国民スポーツ大会”に改称)は2024年に実施される。

県レベルで話し合いがもたれ、2020年国体は年を変更して実施することとなった。2023年に実施予定であった第1回国民スポーツ大会はそのまま順延し2024年に佐賀で行うことと決定した。

2020年

風間杯第63回全国高等学校選抜レスリング大会

日時：令和2年10月9日(金)～11日(日)

場所：新潟県総合スポーツセンター

3月に新潟県で実施予定であった全国高校生選抜レスリング大会は中止になったが、今回、万全の対策を施し、関係者のご努力で同名で実施に至った。本県からは昨年度選抜総体3位であった鳥栖工業高校が、頂点を目指して大会に臨んだ。出場資格は3月の大会の出場資格と同様で、九州新人選手権大会で、団体・個人ともベスト8以上であった。学校対抗戦についても1年生は出場できないとのことであった。本県からは、九州新人大会団体優勝の鳥栖工業高校が団体および個人も8階級中7回級で出場した。結果、学校対抗戦はベスト8、個人戦は2階級優勝、準優勝1階級と素晴らしい結果を納めた。

<学校対抗戦> **ベスト8(5位)**
2回戦 鳥栖工 ○7-0× 足利大附(栃木)
3回戦 鳥栖工 ○7-0× 星城(愛知)
準々決 鳥栖工 ×3-4○ 花咲徳栄(埼玉)



<個人対抗戦>

51kg級……尾西大河(鳥栖工) **優勝**
2回戦 尾西大河(鳥栖工) ○-×池田拓斗(日星)
準々決 尾西大河(鳥栖工) ○-×日比野晴斗(館林)
準決勝 尾西大河(鳥栖工) ○-×山際航平(荏荷)
決 勝 尾西大河(鳥栖工) ○-×向田旭登(花咲徳栄)

55kg級
2回戦 伊藤翔哉(鳥栖工) ×-○田南部魁星(日体大柏)

60kg級
2回戦 小野正之助(鳥栖工) ×-○池端珠理(和歌山北)

65kg級……須田快晴(鳥栖工) **準優勝**
2回戦 須田快晴(鳥栖工) ○-×太田匠海(いなべ総合)
3回戦 須田快晴(鳥栖工) ○-×三谷剛大(高松農業)
準々決 須田快晴(鳥栖工) ○-×有馬鉄太(飛龍)
準決勝 須田快晴(鳥栖工) ○-×丸山千恵蔵(日体大柏)
決 勝 須田快晴(鳥栖工) ×-○計良涼介(花咲徳栄)

71kg 級……小柴伊織（鳥栖工）優勝 

- 1 回戦 小柴伊織（鳥栖工）○－×野田 玄（池田）
- 2 回戦 小柴伊織（鳥栖工）○－×稗田 龍（新宮）
- 3 回戦 小柴伊織（鳥栖工）○－×硯屋亮太郎（鹿島学園）
- 準々決 小柴伊織（鳥栖工）○－×高原崇陽（高山西）
- 準決勝 小柴伊織（鳥栖工）○－×内山椋太（霞ヶ浦）
- 決 勝 小柴伊織（鳥栖工）○－×山路太心（和歌山北）

80kg 級

- 2 回戦 吉田海耶（鳥栖工）×－○東太陽（八学野辺地西）

125kg 級

- 3 回戦 藤田匠賢（鳥栖工）×－○品田陽平（日本工大駒場）



左より 尾西，小柴，須田

最後に

令和2年になり、新型コロナ感染拡大により、殆どの大会が中止になり選手たちは目標を失い、諦めかけていた時期に、多くの関係者のご努力で全国高校生選抜レスリング大会の実施となった。改めて感謝を申し上げたい。おかげで、特に3年生たちは日頃の鍛錬の成果を大いに披露できる舞台を作っていただき、一生の思い出ができたものと思う。

10月に、これまで永きにわたってレスリングの発展に尽力された鹿島高校の松尾秀二先生が闘病の末、永眠された。これまで多くの選手を育ててこられたご功績に敬意を表するとともに冥福を祈るものである。

2023年に開催予定であった佐賀国民スポーツ大会が、コロナ禍で本年度開催予定の県が延期になり、佐賀県は2024年実施となった。ターゲットエイジとされた学年は1年後に変わることとなり、指導の先生方のご苦勞も多いと思われるが、是非この大会に向け頑張っていただきたい。

本年、東京で行われる予定であった東京オリンピックは一年延期され、出場が期待されていた鳥栖工業高校出身の角選手（自衛隊所属）の出場は、オリンピックアジア予選の結果次第に委ねられており決定していない。是非、出場が実現してほしいと関係者一同願っている。

これから先、コロナが沈静化し様々な大会が実施されることを心から祈るものである。

令和2年11月吉日

記 佐賀県高体連レスリング専門部
専門委員長 橋本喜晴（鳥工）